

# 名古屋丸の内ロータリークラブ Nagoya Marunouchi Rotary Club Weekly Report

例会会場：名古屋クレストンホテル  
(TEL : 052-264-8000)

例会曜日：木曜日 12時30分  
クラブ会報広報委員長：黒田 覇太郎  
HP : <http://nagoya-marunouchi-rc.org/>

2023-24年度 R.I. テーマ  
会長：ゴードン R. マッキナリー

Rotary  
Club of Nagoya Marunouchi



世界に希望を生み出そう

承認  
会長  
幹事  
事務局

1995.03.28  
松尾 雄二郎  
今村 昌根  
名古屋クレストンホテル  
1007号  
名古屋市中区栄 3-29-1

TEL 052-263-1324  
FAX 052-263-0730  
E-mail seinan1@fancy.ocn.ne.jp

松尾 雄二郎 会長 年度目標 : 親睦、親睦、そして親睦、楽しんで 30周年につなげましょう

第1234回 例会 No. 10 令和5年 10月 5日 (木)

■ロータリーソング	「君が代」「奉仕の理想」
■出席報告	会員43名中23名出席
■出席率	57.50% 出席計算人数40名
■スピーカー	地区米山記念奨学委員長 大橋 均さん 米山記念奨学生 ド・ティ・ニヤットさん
■ゲスト	入会予定者 木下卓也さん

会長挨拶 松尾 雄二郎



先月のガバナー補佐訪問、アセンブリー、またガバナー公式訪問に出席いただいた方々、どうもありがとうございました。今日は入会予定者の木下さんが来ています。理事会を通過していますので、案内が回りましたら皆様の承認もお願いいたします。

同好会ですが、美食の会ですと、少しだけハードルが高くておすすめのお店のご紹介がいただきにくいと思い、名称を勝手に改めまして、食いしん坊の会として、10月は東区のレジエンド龍文さん、11月は森田さんにご紹介いただいて仲良しのすし史さんで始めてみますので、また皆様の感想をお届けしたいと思います。

ジャンルや価格帯は問いませんので、食いしん坊の会にふさわしいお店の紹介も是非お願いします。因みに、12月は岩田さんに幹事をしていただいて、新栄の八雲さんでおいしいすき焼きを食べようと思っています。

毎年、世界ボランティアデイというのがありますが、今年も前倒しで先週日曜日、僕らのオフィスからは家族含めて70名くらいで、りんくうの海岸清掃に行ってきました。割ときれいだなと思う反面、流れ着く漂流ゴミに加え、明らかに放置されたアルコール類のごみと薬物を疑わせる注射器みたいなものに、最近のマナーの質の低下、ちょっと悪い子が増えているのかなと感じた一日でした。

あとボランティアにかけまして、日本の貧困の話は子ども食

堂の増加に準えてよく聞かれるようになりました。今後ケアリーバーという名前に注目して欲しいと考えます。例えば最近、当クラブで応援している、慈友学園のさまざまな施設で育った親御さんの居ない子や虐待を受けていた子どもたちが、今は年齢制限が撤廃になっているというものの、キャパの関係で、原則18歳で施設から追い出されてしまう問題です。相談にのってくれる大人が近くにいない、家族からのバックアップもない彼らは、最初の就職に失敗するとだいたい悪い方に消えていきます。

この人材が足りない世の中で、本人は純粋で性格も悪くない、やる気もある子どもたちは何か資格を取らせてあげたりして、せめてチャンスだけ平等にしてあげたいと思っています。ケアリーバー、ぜひ覚えていただいて、活躍できる方法をご検討ください。

## ニコBOX

米山奨学委員会 委員長 大橋 均さん

本日は貴重な例会のお時間を頂きありがとうございます。宜しく願い致します。

●本日は米山月間です。地区米山奨学委員会より委員長大橋 均さんが卓話にお越しく下さいました。宜しくお願い致します。米山奨学生 ニヤットさんから研究報告がごぞいます。

松尾、今村、藤田、黒田、武山、水野、岩田、長谷川、小野、矢野、田中、加藤、西川、安江、恵利、堀江亮介、古川、森田、田島、山崎光代、佐久間 (敬称略)

本日合計48,000 円

## 10月の祝福

誕生日		結婚記念日	
2日	加藤さんご夫人	10日	後藤さん
6日	川原さんご夫人		水野さん
17日	田島さんご夫人	26日	黒田さん
22日	矢野さんご夫人		

## 今後の例会予定

- ※10月12日(木) 休会
- 10月19日(木) 例会変更「秋の観劇家族会」
- 10月26日(木) 会員卓話

## 米山功労者表彰

第15回目の米山功労者表彰として、米山奨学会からの記念品を地区米山記念奨学委員長の大橋 均さんから安江英雄さんにお渡しいただきました。



## 2022-23年度会計報告

磯部 徹

会計の長谷川さんに依頼されましたので、代わりにご報告をさせていただきます

お手元の年次報告書をご覧いただきたいのですが、8ページからがクラブの決算報告書になります。9ページの右下のところに貸借対照表というのがあって、その右側の一番下のところに、うち正味財産増減っていうのがあり、三角の120万とあるんですが、要は前年度は当クラブ単年度としては120万円の赤字でした。

収入は、8ページの左側にありますが、予算に比べて約100万円収入が少なかったです。委員会の方の経費が少なかったため、120万ぐらいの赤字で済んだという感じです。

現在6月末の本会計でいうと貸借対照表が前受け会費というものがあるから見にくいんですけど、繰越の正味財産が100万になっているってことは、純財産が100万ということです。

単年度で120万の赤字だったため、今年同じ経緯でいけば貯金は全部食いつぶしちゃうということになります。

ただ、創立記念事業の口座に一般会計から100万円の積み立てをしていますので、その積み立てがなければ収支トントンでした。

10ページにニコボックスの会計があります。当初に収入予算が200万に対して決算額は150万で、50万少ないですが、これは例会の数が毎週じゃなくなったためと思っています。

10ページの左側の下に創立記念事業積立というのがありますが、現在約1200万の創立記念事業のための積立金があります。以上で概略のご報告を終わらせていただきます。

## 米山月間卓話

地区米山記念奨学委員会 委員長 大橋 均

### 「米山記念事業をご理解ください」

所属クラブは三河知立ロータリークラブに所属しております。先ほど言いましたように地区の方に8年出向しています。ロータリー歴は27年になります。

今年一つの区切りとして65歳になり、自分の中での区切りもありますし、地区の委員長は3年で終わりという、一つの内規がありますので、米山委員会の方は終わらせていた

だく年になりました。今日は委員長さんの方から、歴史とか、現況についてのお話をお願いしたいという依頼がございましたので、約15分弱ではございますが、お話をさせていただきますと思います。お手元の方に米山の豆辞典があるかと思いますが、ご覧いただければと思います。



歴史的なものをまず見ていただきたいと思います。

米山基金自体は1953年に作られております。その前、1946年に米山梅木氏が逝去され、その後、東京ロータリークラブが米山基金というのを作りました。

これが最初のスタートでございます。なぜ米山梅吉氏米山記念奨学会という名前がついているかといいますと、米山梅吉氏がアメリカから帰国して、日本で最初のロータリークラブ東京ロータリークラブを設立したということであるからです。

4ページの方に米山梅吉氏とはということで記載がございますので、一度見ていただければと思います。そして、1957年に東京ロータリークラブの単独の組織から日本全国の組織に変わりました。そこでロータリーという名前がつきまして、ロータリー米山記念奨学会となり、1967年、財団法人の設立を行いました。2017年に財団設立50周年を迎え、基金創立から70年という形で2022年、昨年度70年を迎えております。その間に、日本国内では、ロータリアンの皆様からいただく寄付に基づきまして、奨学金の事業をしてきたわけですが、卒業した学生のその後ということで、学友会が設立されております。台湾学友会が最初に発足したのが1983年、そして2023年にベトナム南米山学友会が設立されているのが直近です。そんな意味で皆様からいただきます浄財を基に70年間の歴史を持つ奨学事業です。約2万人超えたところです。米山記念奨学事業といいますのは、日本のロータリーが独自で事業をしております。RIにはない組織でして、ただRIが定める他地区合同活動の手続きは完了しておりますが、日本にしかない支援団体です。

日本で学ぶ外国人留学生の支援として、財団法人を設立しております。他の奨学金と特に違うのは、世話クラブ、カウンセラー制度で交流を持って人を重視した支援をしているところです。他の奨学金ですと、どうしてもお金だけ振り込んでおけばいい、銀行の口座に振り込んで人の交流がないという奨学金もたくさんございますが、米山記念奨学会では、毎月1回定例会に出席して、ロータリアンと交流を持つということが大前提になった奨学金事業です。

今年2023年度全国で900人の奨学生がおります。累計2万3000人、2万人を超えた奨学生を輩出しております。一番気になるころの奨学生の選考です。2024学年度、来年の春に採用するのは、当地区31名の新規の学生を採用いたします。

20人が2年目の就学を受けるので、全部で51名の奨学生がいる中で、新規は31名となっております。

全国統一の基準に基づいて選考してまいります。最後にあります地区裁量という部分、これによりまして当地区では一国の出身者を30%以内に収めております。といいますのは、たくさんになりますと、お世話いただくクラブに対して、同じ国の学生がずっと行くということにもなりかねませんので、今年度も30人強の中で10人ぐらい、やっぱり30%で抑えさせていただきますが、地区採用、本来優秀な学生を順番に取りますと、6割ぐらいが一国の方に占めてしまいます。やっぱり留学生も、お隣の国が多いので、絶対数が多いということ、やっぱり頭のいい方が多いということです。ただ少しでもいろんな国からの学生を採用したいという意味で、一国の制限をさせていただいております。

そして寄付金の状況ですが当地区の平均1万5032円。全国平均1万6960円ですが、丸の内クラブ様におかれましては昨年度2万670円の平均寄付額をいただいております。本当に感謝申し上げます。ありがとうございます。

奨学金の事業14億強ですが、給付金いただいた額は全額奨学生の奨学金および補助費クラブへの補助費、地区の奨学委員会の活動費に充てさせていただいております。管理費等は利息収入で行っております。ちなみに収入の配当金はございますが、これが地区のホシザキ電機の坂本様からいただきました、株式の寄付によりまして配当金があるだけでございます。こんなふうで給付実績は、丸の内クラブにおいては、全部全国平均を上回っていただいておりますので、感謝申し上げますとともに表彰制度でございますので、ぜひ特に500万円、分割でも構いませんが500万円の個人寄付をいただきますと、褒賞の対象になりますので、ぜひ一つの目標としていただければと思います。何年かかっても構いません。分割手続きだけいただければいいかと思っておりますのでよろしく願いいたします。

ざっと説明させていただきました。ありがとうございました。

## 米山月間卓話

米山奨学生 ド・ティ・ニヤット

### 「研究報告」

本日はベトナム進出の日本企業の現状や今後の動きについてお調べいたしましたので、紹介させていただきたいと思っております。まずは前提として、ベトナムは、どんな国かについてですが、ベトナムの人口は9762万人で、アセアン人口ランキングの3位です。首都はハノイで54民族がありまして、中ではキン民族が86%を占めて、他は少数民族になっております。ちなみに私はキン民族です。

ベトナムでは、農林水産業11%、工業建設業38%、サービス業42%の三つの基幹産業となり経済を支えています。特に近年では製造業が盛んになっており、ここでも日本企業が多数進出しております。また、貿易相手国としては、輸出入ともに日本がランクインしています。日本の主要貿易相手国のリストの中にも、ベトナムは10位になっています。このようにお互いに非常に重要なお取引先だといえます。

2022年の調査によりまして、日本企業からベトナムへ進出する企業は、2120社に達しています。キャノン、パナソニック、ホンダ、イオン、無印良品、ニトリなど、幅広いカテゴリーの日系企業が進出しています。そのうち5割が製造業、2割が、卸

売小売を占めております。

外務省の調査によりまして、近年ベトナムに進出する日本企業は年々増加しています。特に2018年以降、米中貿易摩擦を背景に、中国からの生産移管先の有力候補としての立ち位置をさらに高めて、その後2022年にはコロナ禍への対策への対応で、早期の感染拡大の抑制や経済回復を実現できたことで、アセアンの中でも唯一成長プラスを収めることができました。同年ベトナムに拠点を置く日本企業は過去最大の数になりました。

さらに日本貿易振興国の2020年度は、日本本社約2007社の海外事業展開について調査しました。中では、今後海外で事業拡大を図る国に選ばれたトップ5の中国に次いでベトナムは2位を占めています。ベトナムという国は、何でそこまで注目を集めるかという、ビジネスをする上で様々なメリットが存在しているからです。主に人口が多い、資源が豊富、成長が著しいという三つのメリットが挙げられています。メリット1に、若くて意識と質の高い人材が豊富という点です。現在6億人という巨大市場であるアセアンの中でも3番目の人口を抱えています。さらに、平均年齢が28歳、若いゆえに人口増加は、今後も続き、1億人を突破するとも言われています。その中で勤勉な国民性、技術力が高いと高評価されています。現在のベトナム人は人口ボーナス期と呼ばれる時期にあります。今後も2050年まで人口が増加し続けると予想されています。さらに、親日である国民は非常に多いことも付け加えておきます。ベトナムはその急激な人口成長により、消費市場としても有望視されています。ベトナム政府としては今後ベトナム人の1人当たりのGDPを2025年には4700から5000USDまで引き上げる目標を掲げています。この数値は、今から約10年前の中国と同じぐらいの数値であり、中国もそのフェーズから一気に消費市場が拡大しています。

メリット2 資源が豊富で物価が安く、雇用コストも低いことです。ベトナムは自然資源や観光資源が豊富で、近年観光地としても人気を集めております。

またコストが低いのも、物価のみならず、賃金においても同様です。メリット1でも紹介しましたが、低コストである一方で、雇用の質の良さがベトナムにはあります。そのため人件費が主要なコストとなるIT開発業界などで進出している企業が少なくありません。

メリット3は右肩上がりを続ける成長です。

2023年、国際通貨基金IMFの発表、東南アジア主要国の2027年までの経済成長予測によりまして、2027年までベトナムの国内総生産GDP成長率は7%以上で維持しています。

しかし、ベトナムでビジネスをする上でデメリットも様々な存在しています。主に三つを挙げさせていただきたいと思っております。

まず第1、インフラ整備が整っていない点です。ベトナムでも近年様々な計画が進められていますが、インフラ整備が遅れていることは否定できません。また、市内の光化学スモッグなども社会問題となり、空気汚染などといった環境問題も課題となっている状態です。

またバイクの普及率が非常に高いベトナム交通インフラでは、道路の整備になどから、渋滞や事故に巻き込まれることも少なくありません。

デメリット2は、国と国民の離れた距離、安定しない政策です。ベトナムは、中央政府で決定されたことが現場まで到達するのに時間がかかることもあります。また政策がコロコロ変化

したり、不確実な情報に振り回されたり、状況の変化に応じてすぐに前言を撤回されたりすることもしばしばあります。

デメリット 3、離職率が非常に高いです。ベトナム人は真面目で勤勉と言われることから、会社選びに関しても日本同様、同じ会社に貢献し続けてくれると考えてしまうかもしれませんが、しかし実際はかなり離職率が高く、ある人材コンサルタント会社が調査したデータによりますと、1年間でベトナムの転職率は20%と大変高いものでした。20代ベトナム人で転職経験のある人は74%という調査もあります。4人に1人は3回以上転職しています。ベトナム人は転職イコールステップアップ、キャリアアップと考えているため転職に対して抵抗感はなく、むしろ転職に対して積極的なところもあります。

最後にメリットやデメリットを紹介した上で、ベトナム進出を成功させるポイントを四つ考察していきたいと思います。ポイント1 情報収集を入念に行うことです。

理由としては4つありまして、

第1ベトナム市場は環境変化が非常に激しい。

第2ベトナム消費者の嗜好、日本人と異なる。

第3社内での承認手続きが必要。

第4ローカル市場への理解を深める。

まず販売戦略の課題を洗い出すことです。例えばベトナム市場に向けた、新たに商品設計ができるかを検討しないといけないのです。日本市場では一般的な包装方法、成分表示メッセージであっても、ベトナム消費者には全く魅力的ではなかったケースも少なくありません。

次に、ベトナム市場展開に関する自社の方針を再確認することです。ベトナム消費者のニーズを把握することも最重要です。

次に有望なベトナム現地パートナーを探索することです。ベトナム進出の方法は様々ですが、いずれにしても有望な現地パートナーと協力がすることが非常に重要です。

事業の内容はもちろんですが、今後の展開の方向性が一致していることや、企業文化、担当者のマインドなど、自社と相性が良いかを確かめるべき項目は多くあります。

次にベトナム現地の商習慣やコミュニケーション方法を理解することも非常に重要です。ベトナム特有の商習慣やコミュニケーションの作法が存在します。

中では強力なトップダウン 意思決定が早い、コンプライアンスに甘い、ベトナム語でのやり取りが必要などが挙げられます。中でもコンプライアンスに甘いことは本当に要注意です。ベトナムの中小企業において二重帳簿は珍しくありません。手口は様々ですが、日本の感覚からすると非常に大胆な脱税が見られます。なので、ベトナム企業買収、出資する際は十分監査し、解決方法、落としどころを協議する必要があります。つまり日本でのやり方のままでビジネスをしてはいけません。以上で発表を終わりといたします。これからもベトナムと日本の友好関係を願っています。ご清聴ありがとうございました。



## 米山奨学金贈呈

松尾会長より10月の奨学金をド・テイ・ニャットさんにお渡し頂きました。



## 第4回理事会議事録

名古屋クレストンホテル例会場 10月5日 12:00

出席者：松尾、今村、川原、加藤、武山、矢野、水野、田中、藤田、小野、岩田(敬称略)

議題

1. 入会承認の件 木下卓也さん
2. 11月16日 メイクアウィッシュ夜間例会について
3. 12月23日 クリスマス例会について
4. 1月25日 職場見学について
5. 名古屋聾学校 寄付内容報告
6. 2024-25年度 新規地区委員会委員推薦の件  
グローバル奨学生・平和フェロー委員 佐久間静憲  
ローターアクト委員 小野素尊
7. 事務局 会員管理 会計システムの導入について
8. その他 慈友学園 慈友祭

## 第1回 クラブ戦略委員会

日時 10月5日 13:40~

場所 名古屋クレストンホテル「デイライト」

出席者：クラブ戦略委員会

磯部、藤田、水野、加藤、田中、松尾

議題

1. 委員会の見直し ほか

## ハイライトよねやま vol.281 より転載

「寄付金速報 2023-24 年度も好調にスタート」

前年同期比

+ 47.3%

普 -0.8% 特 +177.4%

2023-24年度の最初の月となる7月の寄付金は約3億1,100万円でした。前年度と比べて約47.3%増(普通寄付金:0.8%減、特別寄付金:177.4%増)、約9,990万円の増額となりました。前年度より1億円近くの増額となったのは、年初早々に1億円の高額寄付をいただいた結果です。また、100万円以上のご寄付が個人・法人合わせて6件ありました。ご寄付いただきました皆さまに厚く御礼申し上げます。今年度も引き続きご支援を賜りますよう、よろしく願いいたします。